

国民年金

からのお知らせ

年金受給者の皆さんへ



「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発行されます

年末調整、確定申告まで大切に保管を

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。社会保険料控除を受けるためには、国民年金保険料を支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています。

国民年金保険料を平成24年1月1日から9月30日までに納付された方は、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が11月上旬に日本年金機構本部から送付されますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書(または領収書)を添付してください。

10月1日から12月31日までの間に今年初めて国民年金保険料を納付された方については、翌年の2月上旬に送付されます。

また、ご家族の国民年金保険料を納付された場合は、納付された方の社会保険料控除の対象となりますので、年末調整や確定申告の手続きの際にご自身の国民年金保険料の額と合算して申告できます。(その際はご家族分の証明書も添付する必要があります)

「扶養親族等申告書」は期限までに提出しましょう!

老齢や退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税の課税対象とされています。(障害年金や遺族年金は課税されません)

課税対象者となる受給者の方(64歳以下の方は108万円、65歳以上の方は158万円以上)には、毎年11月上旬までに日本年金機構から「扶養親族等申告書」が送付されますので、提出期限までに日本年金機構へ必ず提出してください。この申告により、翌年中に受けられる年金にかかる所得税の源泉徴収税額が決定されます。提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税の源泉徴収税額が多くなる場合がありますので、ご注意ください。

◆問い合わせ先

草津年金事務所 お客様相談室
☎ 077-567-1311
控除証明書専用ダイヤル
☎ 0570-070-117
住民課 保険年金担当
☎ ⑤26571 有線⑤7784

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

「蒲生氏郷公ゆかりネットワーク」のご縁で「会津まつり」に参加。東京駅から東北新幹線「やまびこ」で福島県郡山駅下車。JR磐越西線のディーゼルカーに乗り継ぎ一時間もすると右に会津磐梯山、左に猪苗代湖、夕闇が迫る中、山間を縫って走りま

す。蒲生氏郷公は、この山道を雪中「葛西大崎一揆」(現在の宮城県)鎮庄のために行軍したのかと思いをせました。やがて街明りが灯る会津盆地が目の前に広がります。その夜は、会津若松市と交流都市の市長さんたちと懇談。翌朝はあいにくの雨、それでも意気高く会津若松城を出発し藩公行列がスタート。先頭は、日野祭曳山(はやし)子方交流会の祭囃子、続いて後藤日野町商工会長(みん)する蒲生氏郷公と手作り甲冑隊(かぶつ)のメンバー。市民の皆さんに「日野町ここにあり」と大いにアピールしていただきました。

翌朝、帰路につきました。福島県は大きく分けて「浜通り」「中

通り」「会津」の地域があり、会津地方は滋賀県の1.5倍の広さ。会津鉄道のディーゼルカーは1輜編成、水田地帯を抜け山間に入り1時間あまりで終点の会津田島駅。そこにも人々の生活が根付いていました。ここで乗り換え、奥会津からトンネルを抜けると奥日光、鬼怒川温泉を通り下今市駅。ここから東武鉄道自慢の特急スペースシアに乗車。グリーン車のようなデラックスなシートで都心へ。時間はかかったけれど、会津地方の奥の深さを実感しました。奥会津から福島県庁までは奥羽山脈を横断しJR東北本線を北上し2時間以上もかかる距離。

今、震災復興を口実に道州制導入の議論もあります。東北6県を「合併」して仙台市が「東北道庁」になれば「道庁」まで日帰りも難しい。交流会で青森県むつ市長は会津若松市まで8時間かかったと話されました。東北地方は広いのです。「何でも大きくすれば効率的」ではありません。都会も田舎もあってこの国があります。それぞれの地域が大切にされなければなりません。今ごろ、きっと会津の山々は美しく紅葉していることでしょう。